

「母親委員会運営委員会～PTA 連携乳がん予防推進連携講演会～」開催報告

乳がんは、女性がかかるがんの中で最も多く、特に40代から50代の年齢層に多いですが、30代後半から罹患率の上昇が見られます。しかし、この世代の女性は仕事や子育てに忙しく、自分の健康を顧みる十分な時間を確保できないのが現状です。

そこで、愛知県では、平成26年度から、PTA 連絡協議会と連携し、PTA 活動のなかで乳がんの正しい知識をお伝えする機会を提供する取組を始め、春日井市小中学校 PTA 連絡協議会が開催する母親委員会運営委員会において、乳がん予防推進連携講演会を開催しました。

開催日時 令和4年6月9日（木）午前10時30分～午前11時40分

開催場所 グリーンパレス春日井

主催 愛知県・春日井市小中学校 PTA 連絡協議会

参加者 春日井市小中学校 PTA 等 65名



講演① がんは予防できると思いますか？

<講師>

愛知県がんセンター研究所 がん予防医療研究領域 がん情報・対策研究分野長 伊藤 秀美 先生

<内容>

伊藤先生には、乳がんができる仕組みと症状、がんを予防するための生活習慣、早期発見のためのがん検診の大切さについてお話いただきました。統計データに基づきご説明いただき、乳がんが女性にとって身近な病気であることを実感できました。



講演② がんと向き合って

<講師>

NPO 法人ミーネット
ピアサポーター 村井 真知子 さん

<内容>

がんの体験者である村井さんには、がんと診断された際の治療や子どもとの関わり、生活・気持ちの変化について、がんと共に生きるご自身の体験からお話をいただきました。また、「備えあれば憂いなし」と、予防と早期発見の大切さについてお伝えいただきました。



<参加者アンケートより>

- *今まで自分がもっていた乳がんに対する知識がほんの少しであったことに気づかされました。しばらく受けていない検診を受けに行こうと思います。
 - *リスクを下げるためにできることが身近にあることを今日知り、自分も家族も友人も巻き込んで健康的な生活を送ろうと思うようになりました。
 - *子宮頸がんは検診を受けていますが、乳がんは一度も検診したことがなく、自分は病気にならないと思い込んでいました。今日のお話を伺って、誰でもがんになりうるんだと改めて実感しました。
 - *がんは自身だけでなく家族にも関わることなので、予防に取り組もうと思いました。
 - *先延ばしにせず、自分の体を大切にしようと思いました。
- ⇒愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思います。

「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、20代～30代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、大学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成26年度から大学と連携し、セミナーを開催する取組を始めました。

令和4年度は中京大学において、下記のとおり実施しました。

開催日時 令和4年11月16日（水）午後3時00分～午後4時10分
開催方法 名古屋キャンパス：対面開催 豊田キャンパス：オンライン開催
セミナー終了後オンデマンド配信
主催 愛知県・中京大学
参加者 上記大学の学生・教職員

【当日】対面：42名、オンライン：40名 【オンデマンド視聴】103名



講演① がんは予防できると思いますか？

<講師>

愛知県がんセンター研究所 がん予防医療研究領域 がん情報・対策研究分野長 伊藤 秀美 先生

<内容>

伊藤先生には、がんができる仕組みと原因、がんを予防するための生活習慣、早期発見のためのがん検診の大切さについてお話いただきました。また、若い女性に増えている子宮頸がんの症状や原因についてもご説明いただき、参加者へ子宮頸がん検診の啓発を行っていただきました。



講演② 大学生でがんになった私が今伝えたいこと

<講師> 山下 芙美子 さん

大学2年生でがん罹患され、現在は社会保険労務士としてご活躍されています。

<内容>

がんの体験者である山下さんから、大学生活とがん治療や就職時のご経験についてお話をいただきました。そして、ご自身の体験を踏まえ、周りには仲間や味方がいること、がんを抱えて生きることは特別なことではないと、大学生の皆さんにメッセージをいただきました。



<参加者アンケートより>

- *無料のがん検診のチケットが届いていたのですが、忙しくて行かなかったことがありました。なんとか時間を見つけて行けるようにスケジュールを調整したいと思いました。
 - *がんは誰でもなりえる病気であること、予防できる部分もあることを改めて考えさせられました。
 - *自分も患う可能性がある子宮頸がんについて、詳しく知ることができました。これからの生活でも気をつけていきたいし、気にしていきたいです。
- ⇒ 子宮頸がんの認知度に関するアンケートでは、アンケート回答者（63名）の56%が「子宮頸がんの主な発生原因がHPV感染であること」を知らず、また、41%の方が「子宮頸がん検診が20歳から推奨されていること」を知らない、という結果でした。

愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、若い世代の方に、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたい